

第80回 入学式 校長のことば

春らしい柔らかな日差しが感じられる季節になりました。このうららかな春の日のよき日に、243名の新入生を上溝高校第80期生として迎えることができ、教職員一同、嬉しく思っています。改めまして、新入生の皆さん、入学おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご入学、心よりお祝い申し上げます。

本日は、PTA会長宮崎孝一様をはじめ、学校運営協議会委員の皆様、本校同窓会鳩友会の皆様、PTA本部役員の皆様をご来賓としてお迎えし、第80回入学式をこのように盛大に挙行できますことを何より嬉しく思います。

さて、高校入試を経て、晴れて上溝高校の一員となった皆さん、まずは数ある高等学校の中から上溝高校を選んでくれたことを嬉しく思います。そして、この上溝高校での3年間の高校生活に大いに期待してほしいと思います。そんな皆さんに最初にお話ししたいことは、高校での学びについてです。

皆さんは、これまでの学習の中で、たくさんのこと理解し、知識として身に付けてきました。しかし、これから学びの中では、知識を身に付けることはゴールではなくスタートです。身に付けた知識は活用しなければなりません。つまり、さまざまな知識を駆使して、今ある課題、答えのない課題の解決方法を考えるのです。いわゆる『探究的な学び』です。探究的な学びを進めていかなければおのずと、例えば数学と理科といった教科の壁、あるいは文系、理系といった壁も越えていきます。いわゆる『教科横断的な学び』です。基礎・基本を大切にした上で、教科の壁を越えて、「答えのない課題の答えを探る」という学びにぜひ挑戦してください。

また、課題を解決するためには、自分一人よりも、一緒に考えてくれる仲間がいる方が、解決の可能性は広がります。そのためには、「協力して働く」という意味の『協働』する力が必要です。協働を支えるのはコミュニケーション力です。他者を尊重し、たとえ互いに意見が違っても合意できる点を見つけていく、そんなコミュニケーション力を身に付けてください。

また、目まぐるしいスピードで変化を続ける今の時代においては、一度身に付けた知識や技能が瞬く間に価値を失ってしまうこともあります。つまり、学び続けなければ生きていけない時代なのです。

これから高校3年間、日々の授業に主体的に取り組み、物事を深く考える力、考えを適切な言葉で説明する力、そして、他者と協働して課題を解決する力をぜひ高めてください。そして、将来、それらの力を駆使して、混迷する社会に光を照らす人材になってほしいと思います。

話は変わりますが、皆さんのが入学した上溝高校は今年で創立114年を迎え、長い歴史と伝統を持つ学校です。敷地のあちこちに長い歴史を感じさせる石碑や記念樹があります。まずは、自分が入学したこの上溝高校のことをよく知ってください。その上で、私は皆さんと上溝高校との出会いが『必然』であってほしいと思っています。必然とはつまり、この学校が皆さんにとって代えの効かない『真の居場所』である、ということです。

そのためには、目の前の様々なことに、結果を恐れず挑戦してみてください。そして、この学校でしかできないことを見つけ、それをとことん追究してください。それが、皆さんのが上溝高校に入学した真の理由になるはずです。上溝高校での3年間に期待を抱き、好奇心旺盛に行動してください。

そして、仲間との出会いを大切にしてください。人が成長するには仲間の存在が不可欠です。皆さんのが3年間で出会う仲間はそれぞれ異なる個性を持っています。その多様さを尊重することで、視野

が広がり、互いが磨かれ、共に成長することができると思います。そして仲間との語らいは生涯の財産になります。まずは、勇気をもって自分から隣の人に声をかけてみてください。その一言がすべての始まりです。

保護者の皆様、私たち上溝高校の教職員は、皆様が学校に寄せる期待と信頼に応えられるよう、一丸となって教育活動に取り組んでまいります。しかし、教育には、ご家庭の協力が不可欠です。様々な情報を共有して、お子様の未来をともに考えていきたいと思います。ご理解ご協力をお願ひいたします。

最後に、80期生の皆さん輝かしい高校生活を祈念して入学式のあいさつといたします。

令和7年4月8日
神奈川県立上溝高等学校
校長 林田裕之